Eisen DataLinker

アイゼン　データリンカー

Version 1.1.0.0

Eisen Prospektor専用データ転送ソフト

取扱説明書

KGS　株式会社　計測技術サービス

目次　　ページ

1．はじめに ═══ 4
1．1．免責について ---- 4
1．2．ご使用上の注意 ---- 4
1．3．必要システム ---- 5
1．4．Ver.1.1.0 の新機能---- 5

2．インストール ═══ 6
2．1．USBドライバソフトウェアのインストール ---- 6
2．2．Eisen DataLinker本体ソフトウェアのインストール ---- 6

3．アンインストール ═══ 8

4．使い方 ═══ 9
4．1．起動する前に ---- 9
4．2．起動の仕方 ---- 10
4．3．初期画面 ---- 10
4．3．1．ファイルメニュー ---- 10
4．3．1．1．データ転送 ---- 10
4．3．1．2．ファイルを開く ---- 11
4．3．1．3．終了 ---- 11
4．3．2．ツールメニュー ---- 11
4．3．2．1．設定 ---- 11
4．3．3．ウィンドウメニュー ---- 11
4．3．4．ヘルプメニュー ---- 12
4．3．4．1．バージョン情報 ---- 12
4．3．4．2．KGSホームページへ ---- 12
4．4．データ転送画面 ---- 12
4．4．1．COMポート選択コンボボックス ---- 12
4．4．2．開始ボタン ---- 13
4．4．2．1．データ転送手順 ---- 13
4．4．3．キャンセルボタン ---- 14
4．5．設定画面 ---- 15
4．5．1．COMポート選択コンボボックス ---- 15
4．5．2．測定者名入力テキストボックス ---- 15
4．5．3．測定場所名入力テキストボックス ---- 15
4．5．4．許容かぶり厚入力テキストボックス ---- 15
4．5．5．測定データCSV作成選択コンボボックス---- 16
4．5．6．保存ボタン ---- 16
4．5．7．キャンセルボタン ---- 16
4．6．測定データ画面 ---- 16
4．6．1．ファイルメニュー ---- 17
4．6．1．1．データ転送 ---- 17
4．6．1．2．ファイルを開く ---- 17
4．6．1．3．名前を付けて保存 ---- 17
4．6．1．4．すべてを保存 ---- 17
4．6．1．5．印刷 ---- 17
4．6．1．6．閉じる ---- 18
4．6．1．7．すべてを閉じる ---- 18
4．6．1．8．終了 ---- 18

4. 6. 2. 編集メニュー ---------- 18
4. 6. 2. 1. データ番号 ---------- 18
4. 6. 2. 2. 測定者 ---------- 18
4. 6. 2. 3. 測定場所 ---------- 18
4. 6. 2. 4. 測定日付 ---------- 18
4. 6. 2. 5. 作成日付 ---------- 19
4. 6. 2. 6. 許容かぶり厚 ---------- 19
4. 6. 2. 7. 測定データ表示 ---------- 19
4. 6. 3. JPEG保存メニュー ---------- 19
4. 6. 3. 1. JPEG保存 ---------- 19
4. 6. 3. 2. すべてをJPEG保存 ---------- 19
4. 6. 4. ツールメニュー ---------- 19
4. 6. 5. ウィンドウメニュー ---------- 19
4. 6. 6. ヘルプメニュー ---------- 19
4. 6. 7. 測定データ削除操作---------- 20
4. 6. 8. 測定データ無効化・有効化操作---------- 20

5. ファイル仕様 ========== 21
5. 1. EDLファイル ---------- 21
5. 2. JPEGファイル ---------- 21
5. 3. CSVファイル ---------- 21

6. トラブルシューティング (Q&A) ========== 22

7. 連絡先 ========== 23

1. はじめに

このたびは、株式会社計測技術サービス製 鉄筋探査機 Eisen Prospektor (ｱｲｾﾞﾝ ﾌﾟﾛｽﾍﾟｸﾀｰ) EM-01 をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。

本ソフトウェアは、Eisen Prospektor 専用のパソコンへのデータ転送ソフトウェアです。

Eisen Prospektor とパソコンをUSBケーブル(通信ケーブル)で接続し、本ソフトウェアを使用する事により、Eisen Prospektor で測定した測定データをEDLファイル形式(独自形式)またはJPEGファイル・CSVファイル形式でパソコンに保存する事が出来ます。

また、保存したEDLファイルを読み込む事により、過去の測定データを閲覧する事も可能です。

これにより、測定データの電子媒体による保存及び報告書作成時間の短縮等が可能となります。

・ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

・取扱説明書は必要な時に参照できるように大切に保管して下さい。

万一、ご使用中に解らないことや不具合が生じた時にお役立て下さい。

1. 1. 免責につて

本ソフトウェアを使用した結果の影響による損失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1. 2. ご使用上の注意

・本ソフトウェア及びUSBドライバソフトウェアをインストール完了するまでは Eisen Prospektor をパソコンに接続しないでください。

・万一エラーが発生した場合は、エラーメッセージを書き留めておき、弊社までご連絡ください。

1．3．　必要システム

- **OS**
  Microsoft Windows XP/Vista/7

- **パソコン本体**
  USBポート搭載のDOS/V機
  CD-ROMドライブ

- **ディスプレイ**
  解像度 800×600 ドット以上／256 色以上

- **その他**
  Microsoft .NET Framework 2.0以上
  （インストールされていない場合は、本ソフトウェアインストール時にインストールされます。）

Microsoft® WindowsXP/Vista/7 及びMicrosoft .NET Framework は米国Microsoft 社の米国及びその他の国における登録商標です。

1．4．　Ver.1.1.0 の新機能

① ソフト上で編集出来る項目に、「データ番号」を追加しました。

② 最初と最後の測定データの削除機能を追加しました。
これにより、測定開始直後及び測定終了直前の不要な測定データを削除する事が出来ます。

③ 測定データの無効化・有効化機能を追加しました。
無効化したデータは白抜きの「○」「　」になり、測定結果の集計に含まれません。
また、無効化したデータを再度クリックする事により、有効に戻す事が出来ます。

④ インストールすると、EDLファイルがEisenDataLinkerに関連付けされ、
エクスプローラーなどから直接EDLファイルをダブルクリックする事により開く事が出来るようになりました。
また、エクスプローラーなどから複数測定ファイルをドラッグ＆ドロップする事により
簡単に測定データを開く事も出来ます。

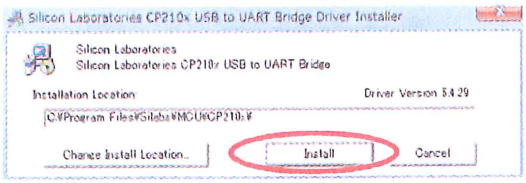
⑤ 簡易印刷機能を追加しました。
表示イメージそのままを印刷する事が出来ます。

2. インストール

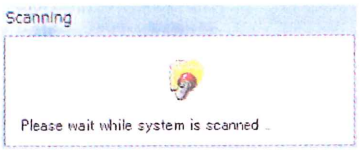
既に旧バージョンのソフトがインストールされている場合は、USBドライバソフトウェアを含めて
全てアンインストール(3. アンインストール 参照)してから新バージョンをインストールする事を
お勧めします。
お使いのパソコンにて、CDの自動再生をONにしている場合には下記起動画面は自動的に表示されます。

2. 1. USBドライバソフトウェアのインストール

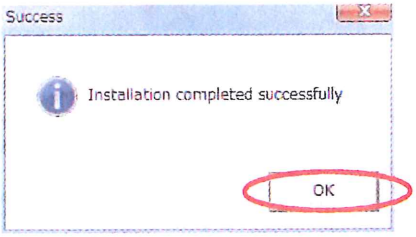
1. 「Driver」フォルダ内にある「CP210xVCPInstaller.exe」を実行する。
(CDの自動再生をOFFにしている場合)



インストール先フォルダを選択します。
通常はデフォルトのままで大丈夫です。
「Install」をクリックします。



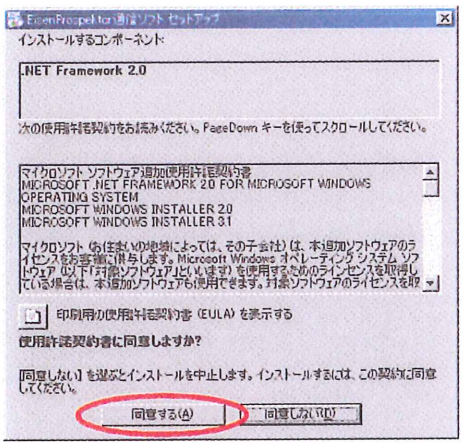
インストール作業が始まるので
暫く待ちます。



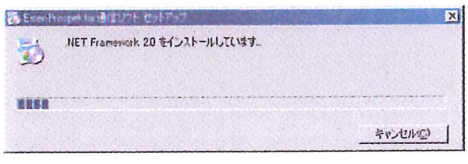
「OK」をクリックで
インストール終了です。

2. 2. Eisen DataLinker本体ソフトウェアのインストール

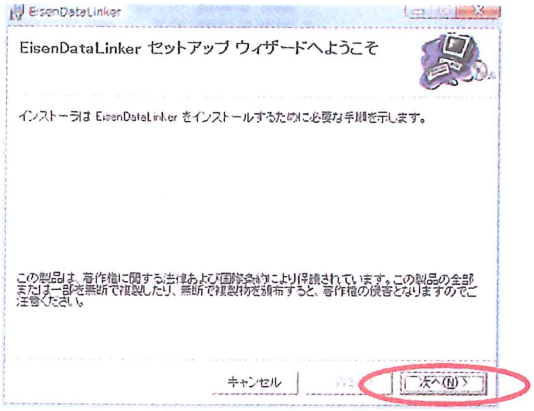
1. 「setup.exe」を実行する。(CDの自動再生をOFFにしている場合)



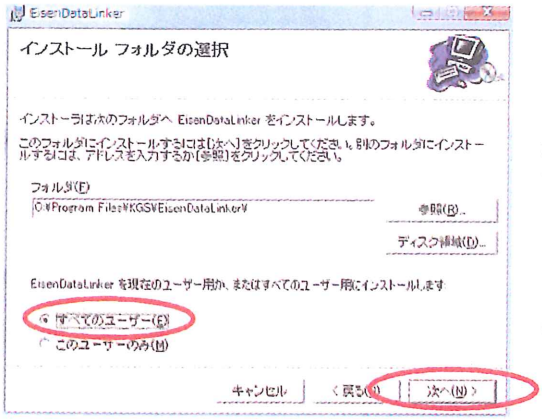
お使いのパソコンに
「.NET Framework 2.0」以上が
インストールされていない場合には
このウィンドウが開き、
「.NET Framework 2.0」をインストールします。
使用許諾契約書に同意頂ける場合には
「同意する」をクリックします。



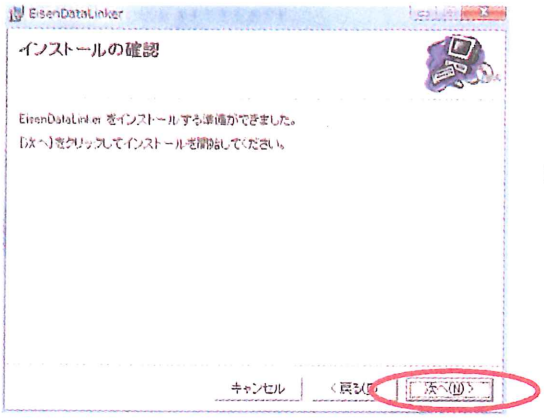
インストール作業が始まるので暫く待ちます。
環境によっては再起動を求められる事がありますので
再起動を行い、再度「setup.exe」を実行してください。



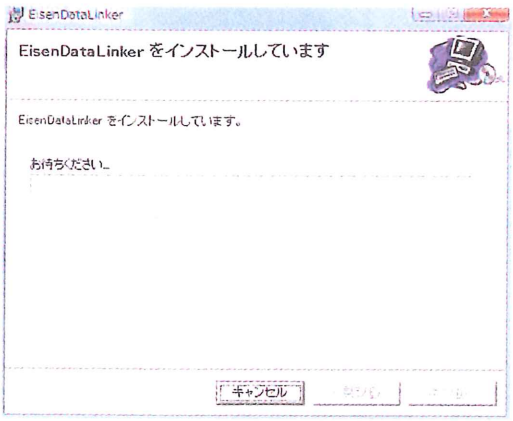
「.NET Framework 2.0」のインストールが
終了すると、続いて通信ソフトの
インストールが開始されます。
「.NET Framework 2.0」以上がインストール
されている場合にはこの画面より始まります。
「次へ(N) >」をクリックします。



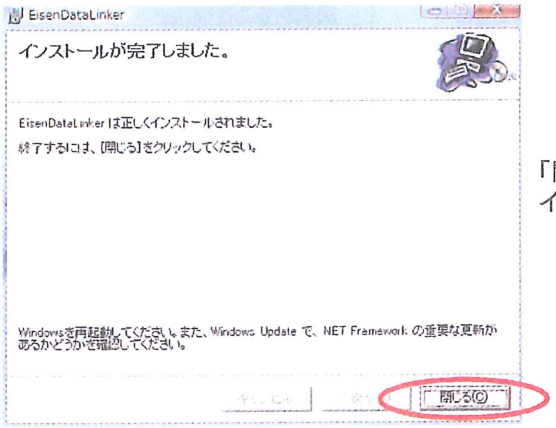
インストール先フォルダを選択します。
通常はデフォルトのままで大丈夫です。
使用するユーザー選択は
「すべてのユーザー」を選択します。
（インストールパソコンを一人のユーザーで
使用する場合は「このユーザーのみ」でも
問題ありません。）
「次へ(N) >」をクリックします。



「次へ(N) >」をクリックします。



インストール作業が始まるので
暫く待ちます。



「閉じる(C)」をクリックで
インストール終了です。

必ずインストール終了後にWindowsを再起動してください。

3. アンインストール

WindowsVista/7 をお使いの場合は、Windows「スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」、WindowsXP をお使いの場合は、Windows「スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」よりアンインストールを行ってください。

アンインストールする項目は、下記2項目です。

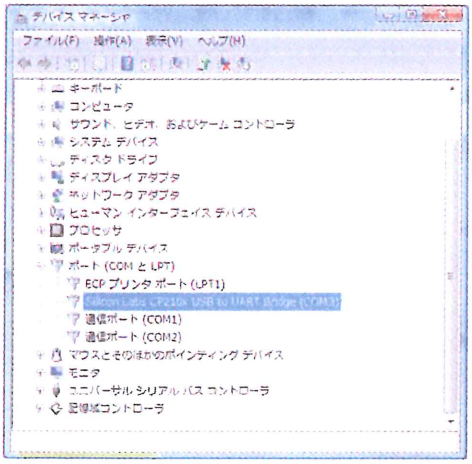
① Eisen DataLinker
② Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge (Driver Removal)

4. 使い方

4. 1. 起動する前に

1. 本ソフトウェアを起動する前に、COMポートを確認します。
「Eisen Prospektor」をUSBケーブル（通信ケーブル）でパソコンと接続します。
正常に認識が終了したら、
Windows「スタートメニュー」→「コントールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」
を開きます。

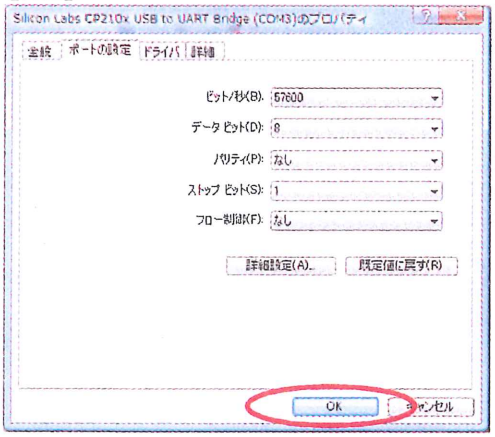
【図1】



「ポート（COMとLPT）」の項目中に
「Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge (COM～)」
の項目がある事を確認し、「COM～」の数字を書き留めておいてください。（※1）
（【図1】の場合は「3」となります。）
このCOMポートの数字はお客様のパソコン環境により変化する可能性があります。
（一度認識されますと、USBケーブルを挿し直しても変化はしません。
但し、違うUSBポートに挿すと変化する可能性があります。）

2. 次に、COMポートの設定を確認します。
【図1】の中の「Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge (COM～)」を選択し、
マウスの右クリック→「プロパティ」→「ポートの設定」タブを開きます。

【図2】



【表1】

項目	値
ビット/秒	57600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

【図2】の各値を【表1】と同じ値に修正します。
値変更が終了したら「OK」ボタンをクリックしてください。

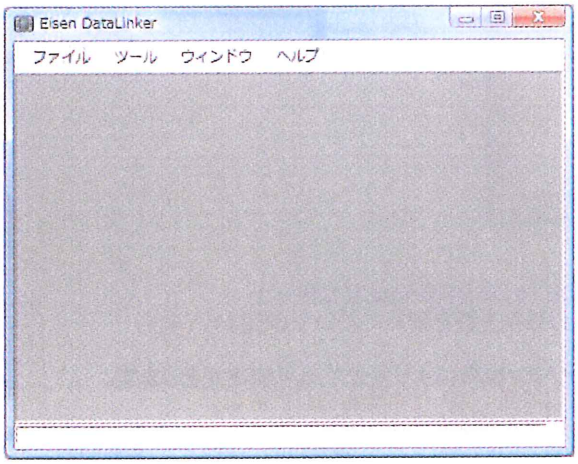
この作業は、本ソフトウェアをインストール後に初めて実行する前には必ず行ってください。
（※1）で確認したCOMポート番号は、データ転送を行う際に必ず設定しなければならない項目です。
また、USBケーブルを違うUSBポートに挿した場合には再度確認してください。

4. 2. 起動の仕方

デスクトップ上の「Eisen DataLinker」アイコンをダブルクリック、
または、スタートメニューの「KGS」→「Eisen DataLinker」をクリックして
起動します。

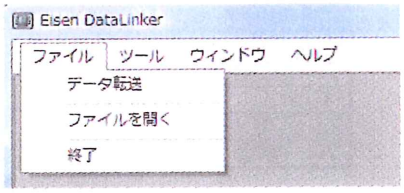
また、エクスプローラーなどでEDLファイルをダブルクリックする事で
EisenDataLinkerを起動し、同時に測定画像を開く事も可能です。

4. 3. 初期画面



起動直後はこの画面が表示されます。

4. 3. 1. ファイルメニュー



4. 3. 1. 1. データ転送

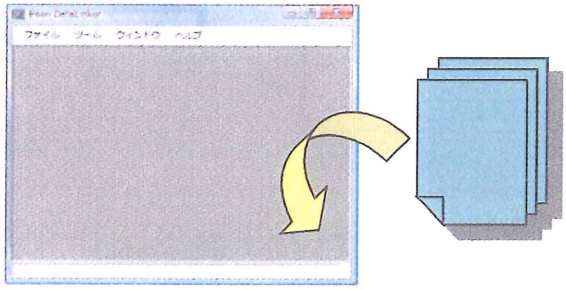
Eisen Prospektorからデータ転送を行う、データ転送画面を表示します。
詳細は「4. 4. データ転送画面」を参照ください。

4. 3. 1. 2.　ファイルを開く

既にEDLファイルとして保存した測定データを開きます。
「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので
開きたいEDLファイルを選択してください。
「CTRL＋クリック」「SHIFT＋クリック」またはドラッグで複数選択する事も出来ます。
開かれた測定データは「4. 6.　測定データ画面」にて表示されます。

但し、一度に開けるファイル数はお客様のパソコン環境に左右されますので
エラーが発生する場合には、選択数を少なくして再度お試しください。

※ ドラッグ＆ドロップ操作でのファイルの開き方
エクスプローラーなどから複数ファイルをドラッグ＆ドロップする事により
簡単にファイルを開く事も可能です。
ドラッグ＆ドロップでファイルを開く場合には、アイゼンデータリンカーの親ウィンドウの
背景（濃い灰色部分）に、ファイルをドラッグ＆ドロップして下さい。

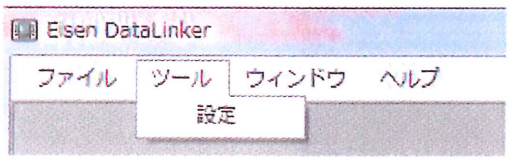


※ エクスプローラーなどでEDLファイルをダブルクリックする事により、ファイルを開く事も可能です。

4. 3. 1. 3.　終了

本ソフトウェアを終了します。

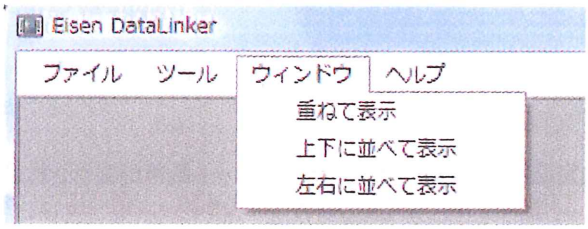
4. 3. 2.　ツールメニュー



4. 3. 2. 1.　設定

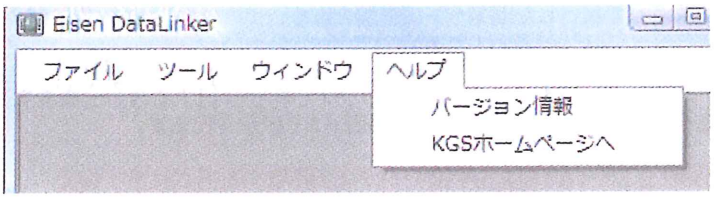
各種初期設定を行う設定画面を表示します。
詳細は「4. 5.　設定画面」を参照ください。

4. 3. 3.　ウィンドウメニュー

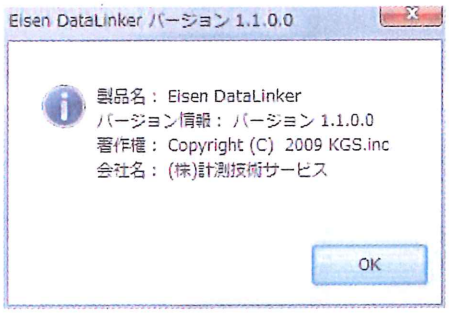


測定データ画面（「4. 6.　測定データ画面」をご参照ください）の表示位置を調整します。
また、測定データ画面を開いた状態では、この部分にリスト表示されるので
目的の測定データ画面を容易に見つける事が可能です。

4．3．4．　ヘルプメニュー



4．3．4．1．　バージョン情報

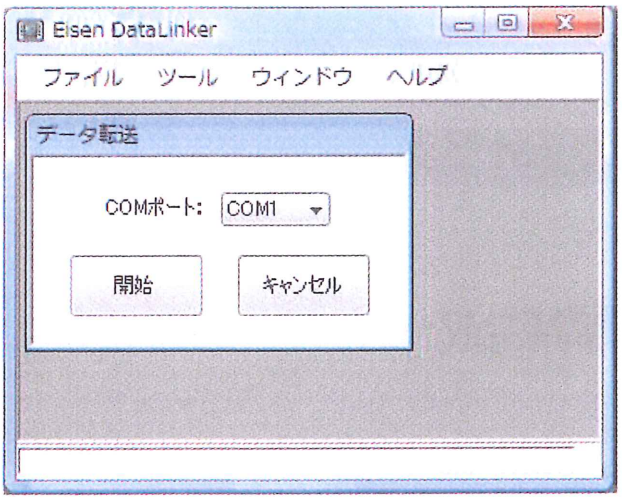


本ソフトウェアのバージョンを表示します。
お問い合わせの場合には、この画面のバージョン情報を確認し、
お問い合わせ内容と一緒にご連絡ください。

4．3．4．2．　KGSホームページへ

お使いのインターネットブラウザで弊社ホームページを開きます。
インターネットに接続されている必要があります。

4．4．　データ転送画面



Eisen Prospektor本体からデータ転送を行います。

4．4．1．　COMポート選択コンボボックス

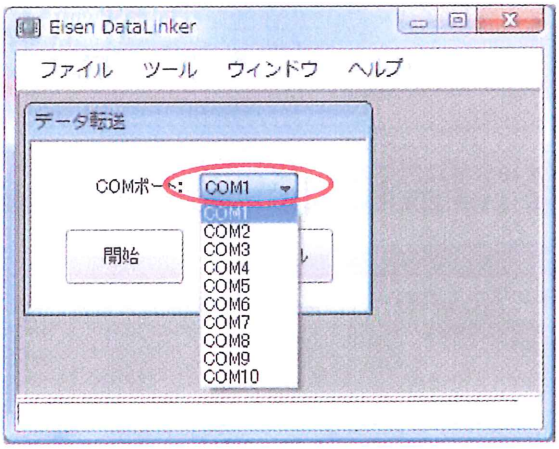
デフォルトは「4．5．　初期設定画面」で初期設定されたCOMポート番号が表示されます。
「4．1．　起動する前に」「1．」で確認したCOMポート番号（※1）と同じである事を
必ず確認してください。
また、このCOMポート番号は初期設定画面で設定せずとも
この画面を閉じる時に保存されます。

4．4．2．　開始ボタン

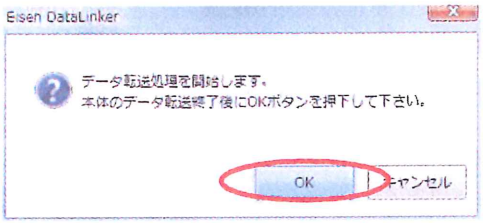
データ転送を開始する時にクリックしてください。

4．4．2．1．　データ転送手順

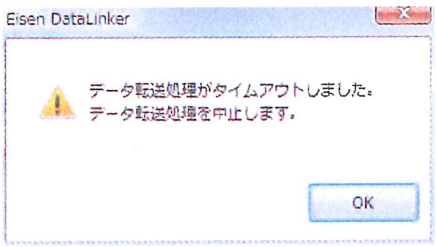
1. 「Eisen Prospektor」本体とパソコンをUSBケーブルで接続します。
2. 本ソフトウェアを起動します。
3. （※1）で確認したCOMポート番号を
「4．4．1．　COMポート選択コンボボックス」にて選択します。



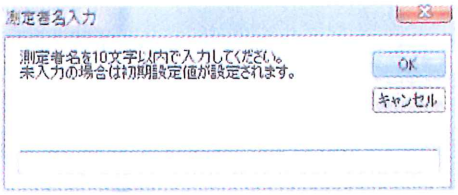
4. 「開始ボタン」をクリックします。

① 

待機メッセージが表示されますので、
「Eisen Prospektor」本体のデータ転送を実行します。
本体のデータ転送方法については、本体の取扱説明書をご参照ください。
データ転送が完了した後に、「OK」ボタンをクリックします。
「OK」ボタンをクリック後にデータ転送を実行する事も可能ですが、
「OK」ボタンをクリック後に約30秒間でデータ転送が開始されない場合には
タイムアウトします。

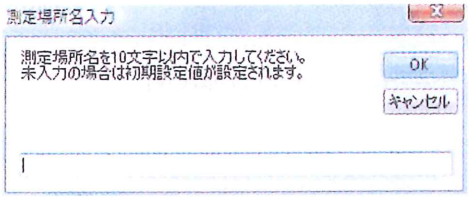


②



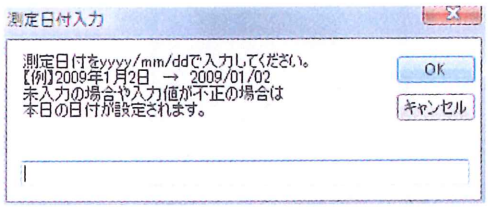
測定者名を**10文字以内**で入力します。
未入力の場合は初期設定画面で設定した同項目の値が設定されます。

③



測定場所名を**10文字以内**で入力します。
未入力の場合は初期設定画面で設定した同項目の値が設定されます。

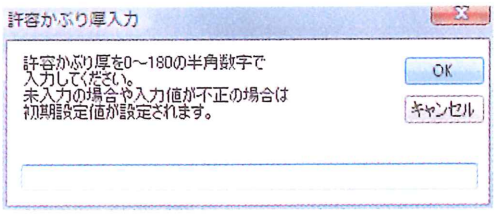
④



測定日付を**yyyy/mm/dd（年4桁・月2桁・日2桁）形式**で入力します。
未入力の場合は本日の日付が設定されます。

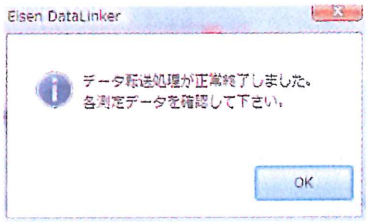
なお、作成日付項目は本日の日付が自動的に設定されますので
変更したい場合は「4．6．2．4．　作成日付」にて変更してください。

⑤



許容かぶり厚を**半角数字**で0～180の間で入力します。
未入力の場合は初期設定画面で設定した同項目の値が設定されます。

⑥



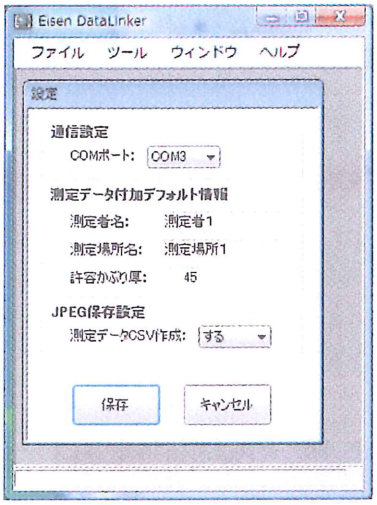
転送処理が正常終了した場合にはこのメッセージが表示され、
転送された測定データは「4．6．　測定データ画面」にて表示されます。

転送された測定データはこの時点では未だファイルに保存されていません。
ファイルに保存する場合には「4．6．　測定データ画面」にて保存処理を
行ってください。

4．4．3．　キャンセルボタン

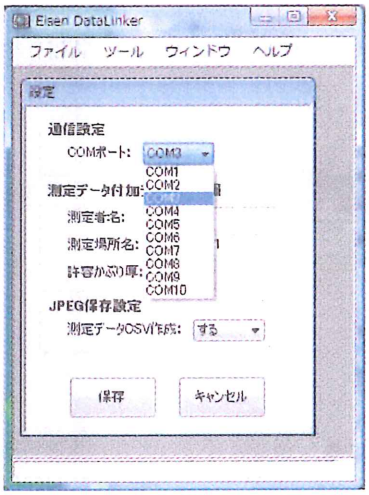
データ転送処理をキャンセルし、当画面を閉じる時にクリックしてください。

4．5．　設定画面



4．5．1．　COMポート選択コンボボックス

データ転送画面の同項目（「4．4．1．　COMポート選択コンボボックス」）で、
デフォルトで選択されるCOMポート番号を選択します。
「4．1．　起動する前に」「1．」で確認したCOMポート番号（※1）と同じである事を
必ず確認してください。



4．5．2．　測定者名入力テキストボックス

データ転送時に入力する測定者名（「4．4．2．1．　データ転送手順　4．　②」）にて
未入力時に設定される測定者名を設定します。
10文字以内で入力してください。

4．5．3．　測定場所名入力テキストボックス

データ転送時に入力する測定場所名（「4．4．2．1．　データ転送手順　4．　③」）にて
未入力時に設定される測定場所名を設定します。
10文字以内で入力してください。

4．5．4．　許容かぶり厚入力テキストボックス

データ転送時に入力する許容かぶり厚（「4．4．2．1．　データ転送手順　4．　⑤」）にて
未入力時に設定される許容かぶり厚を設定します。
0～180の間の半角数字で入力してください。

4. 5. 5.　測定データCSV作成選択コンボボックス

JPEG保存時に、同時にCSVファイルを作成するかどうかを設定します。

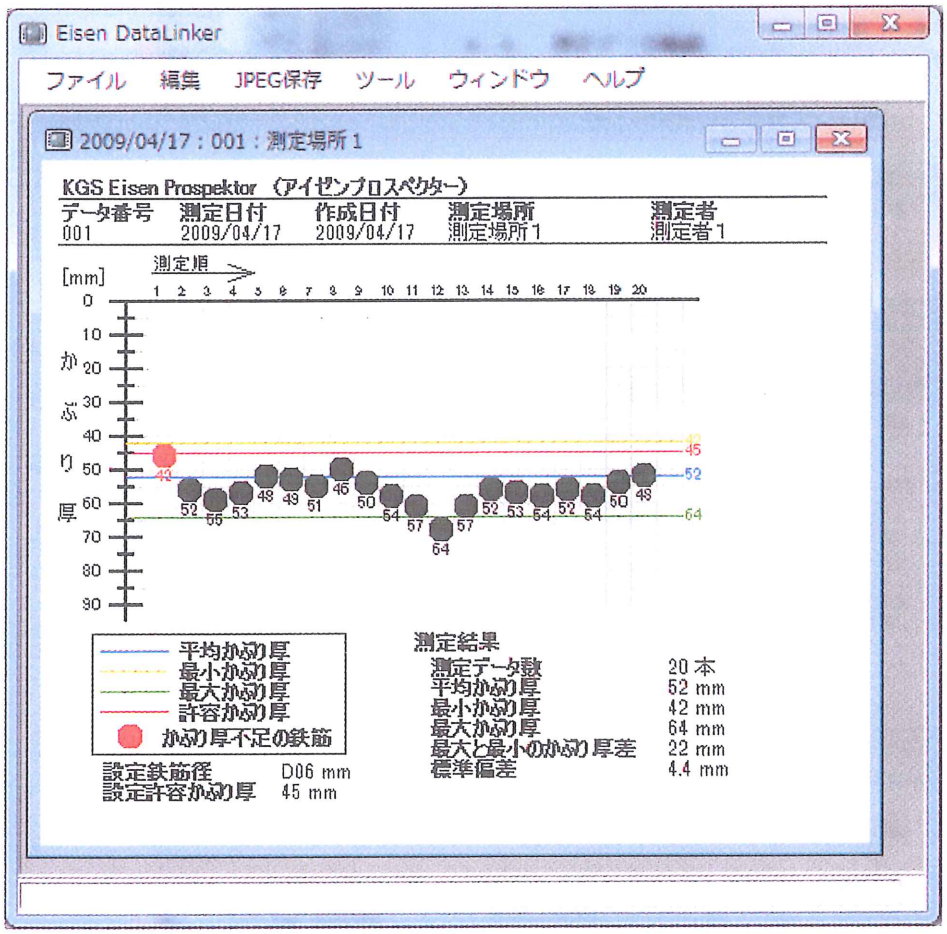
4. 5. 6.　保存ボタン

入力された設定値を保存します。
入力しただけでは保存されませんので、変更を行った場合には必ず保存ボタンをクリックして入力値を保存してください。

4. 5. 7.　キャンセルボタン

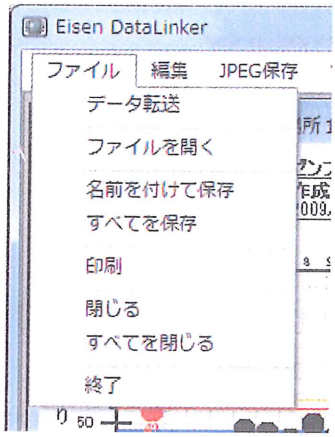
入力された値を破棄して当画面を閉じます。

4. 6.　測定データ画面



「4. 3. 1. 2.　ファイルを開く」または、「4. 4. 2. 1.　データ転送手順」が完了すると測定データがこの画面で表示されます。
データ番号毎にウィンドウが開きます。

4．6．1．　ファイルメニュー



4．6．1．1．　データ転送

「4．3．1．1．　データ転送」と同機能です。

4．6．1．2．　ファイルを開く

「4．3．1．2．　ファイルを開く」と同機能です。

4．6．1．3．　名前を付けて保存

アクティブな測定データを名前を付けて保存します。

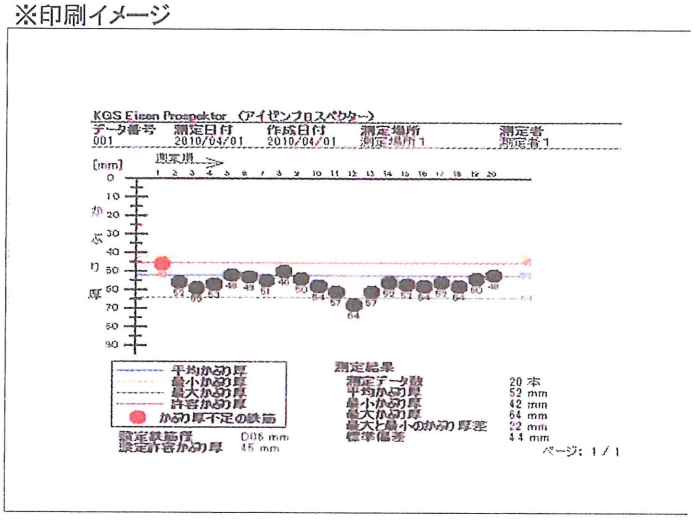
4．6．1．4．　すべてを保存

現在開いているすべての測定データを名前を付けて保存します。

4．6．1．5．　印刷

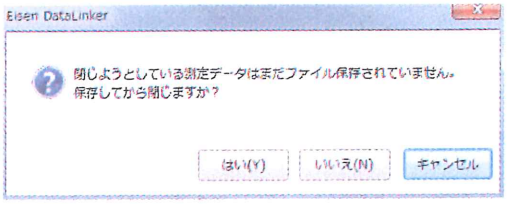
アクティブな測定データを、そのままのイメージで印刷します。
デフォルトの設定では「A4横」で印刷されます。他の用紙サイズでも印刷可能ですが
横長のイメージですので、印刷方向は「横」方向をお勧めします。
測定データ数が25本以上ある場合は、25本ずつで分割して複数頁印刷されます。

※印刷イメージ



4. 6. 1. 6.　閉じる

アクティブな測定データを閉じます。
保存せずに閉じようとした場合には注意メッセージが表示されます。



「はい」を選択　→　「4. 6. 1. 3.　名前を付けて保存」処理を行ってから閉じます。

「いいえ」を選択　→　保存せずに、そのまま閉じます。

「キャンセル」を選択　→　「閉じる」動作をキャンセルして元の画面に戻ります。

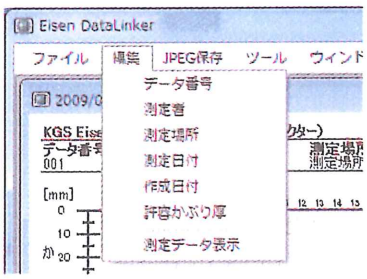
4. 6. 1. 7.　すべてを閉じる

現在開いているすべての測定データを閉じます。
保存せずに閉じようとした場合には注意メッセージが表示されます。
（「4. 6. 1. 6.　閉じる」参照）

4. 6. 1. 8.　終了

「4. 3. 1. 3.　終了」と同機能です。

4. 6. 2.　編集メニュー



アクティブな測定データの各種値を編集します。

4. 6. 2. 1.　データ番号

データ番号を変更します。
0～999の間の半角数字で入力してください。

4. 6. 2. 2.　測定者

データ転送時に入力した測定者名（「4. 4. 2. 1.　データ転送手順 4.　②」）を変更します。
10文字以内で入力してください。

4. 6. 2. 3.　測定場所

データ転送時に入力した測定場所名（「4. 4. 2. 1.　データ転送手順 4.　③」）を変更します。
10文字以内で入力してください。

4. 6. 2. 4.　測定日付

データ転送時に入力した測定日付（「4. 4. 2. 1.　データ転送手順 4.　④」）を変更します。
yyyy/mm/dd（年4桁・月2桁・日2桁）形式で入力してください。

4．6．2．5．　作成日付

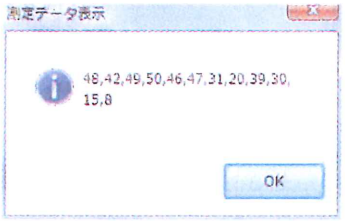
データ転送時に本日の日付が設定されている作成日付を変更します。
yyyy/mm/dd（年4桁・月2桁・日2桁）形式で入力してください。

4．6．2．6．　許容かぶり厚

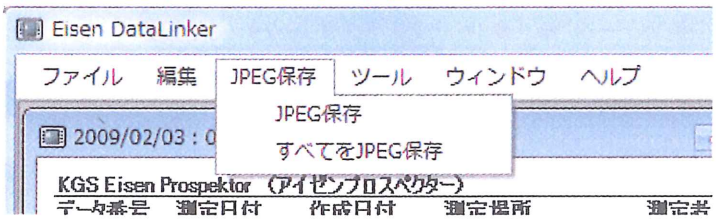
データ転送時に入力した許容かぶり厚（「4．4．2．1．　データ転送手順　4．　⑤」）を変更します。
0～180の間の半角数字で入力してください。

4．6．2．7．　測定データ表示

測定データを一覧表示します。
10個を1列として表示していますので、目的の測定データを容易に探すことが出来ます。



4．6．3．　JPEG保存メニュー



4．6．3．1．　JPEG保存

アクティブな測定データ画像をJPEGファイルで保存します。
「4．5．5．　測定データCSV作成選択コンボボックス」にて「する」を選択していると
同時に、同名のCSVファイルも作成します。

4．6．3．2．　すべてをJPEG保存

現在開いているすべての測定データ画像をJPEG保存します。
「4．5．5．　測定データCSV作成選択コンボボックス」にて「する」を選択していると
同時に、同名のCSVファイルも作成します。

4．6．4．　ツールメニュー

「4．3．2．　ツールメニュー」と同機能です。

4．6．5．　ウィンドウメニュー

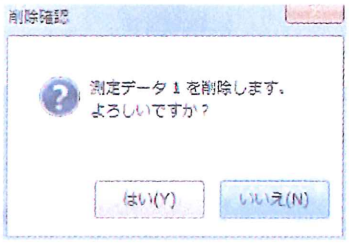
「4．3．3．　ウィンドウメニュー」と同機能です。

4．6．6．　ヘルプメニュー

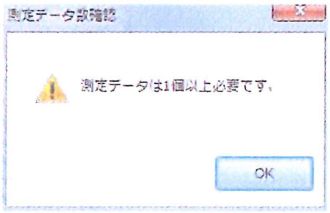
「4．3．4．　ヘルプメニュー」と同機能です。

4. 6. 7.　測定データ削除操作

最初と最後の測定データ「●」「●」をマウスで左クリックすると、確認メッセージが表示され、
削除する事が出来ます。

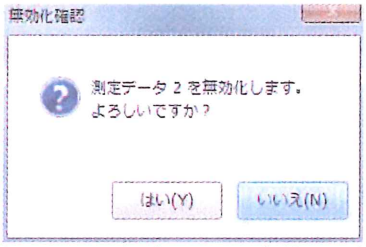


これにより、測定開始直後や終了直前の余分な測定データを削除出来ます。
但し、最後の1個を削除する時にはメッセージが表示され、それ以上は削除出来ません。

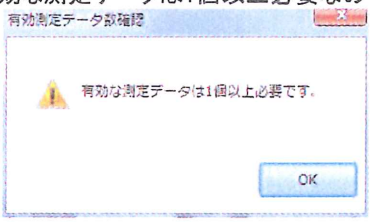


4. 6. 8.　測定データ無効化・有効化操作

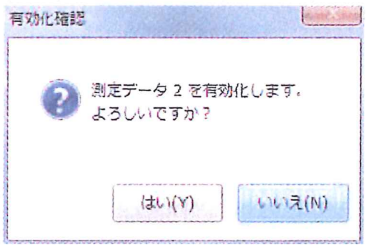
最初と最後以外の測定データ「●」「●」をマウスで左クリックすると、確認メッセージが表示され、
無効化する事が出来ます。（「○」「○」と表示されます。）



無効化した測定データは測定結果の集計に含まれません。
有効な測定データは1個以上必要なので、全ての測定データを無効化する事は出来ません。



無効化した測定データ「○」「○」をマウスで左クリックすると、確認メッセージが表示され、
有効化する事が出来ます。（「●」「●」表示に戻ります。）



有効化した測定データは測定結果の集計に含まれるようになります。

5. ファイル仕様

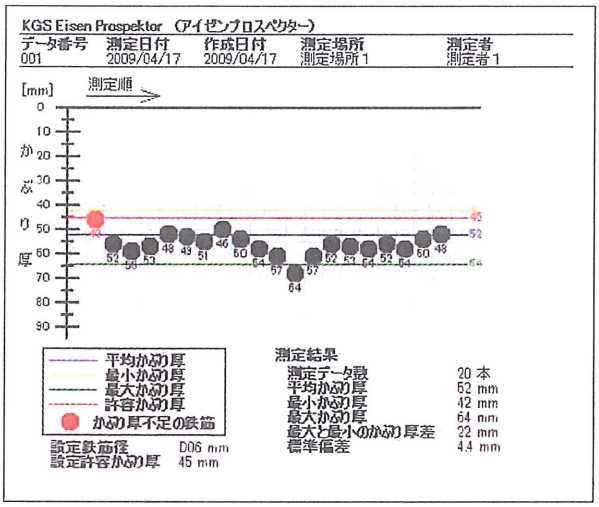
5. 1. EDLファイル

本ソフトウェア独自フォーマットであり、他のソフトウェアと互換性はありません。
測定データがデータ番号毎に1ファイルとして保存されます。
本ソフトウェアで開く事が出来るのはこのファイルだけです。

バイナリデータで書き込まれているので編集は出来ないようになっています。
万一、ファイル内容を他のソフトウェアで編集した場合には正常に読み込めなくなるので
編集をしないようにお願いします。

5. 2. JPEGファイル

本ソフトウェアで保存したJPEGファイルは一般的なJPEGフォーマットを使用しています。
各種画像系ソフトウェア、及びOffice系ソフトウェアで開く事が出来ますので
簡単に報告書を作成する事が可能です。



5. 3. CSVファイル

本ソフトウェアで保存したCSVファイルは、一般的なカンマ区切りのCSVフォーマットを使用しています。
各種Office系ソフトウェアで開く事が出来るので、簡単に報告書を作成する事が可能です。
1行目にはタイトル行を配置し、2行目に測定データを配置しています。

データ番号	測定日付	作成日付	測定者	測定場所	設定鉄筋径	設定許容かぶり厚	測定データ数	平均かぶり厚	最小かぶり厚	最大かぶ
100	2009/4/17	2009/4/17	測定者1	測定場所1	D08	45	300	42	42	

測定データ1	測定データ2	測定データ3	測定データ4	測定データ5	測定データ6	測定データ7	測定データ8	測定データ9	測定データ10	測定デー
45	43	43	44	43	44	43	43	43	44	

測定データ257	測定データ258	測定データ259	測定データ260	測定データ261	測定データ262	測定データ263	測定データ264	測定データ265	測定データ266	測定デー
42	42	42	43	43	43	43	43	42	42	

6. トラブルシューティング （Q&A）

Q： 起動しようとするとエラーが発生する。

A1： WindowsUpdateを実行し、Windowsのアップデートをしてください。

A2： 本ソフトウェアインストール後にWindowsの再起動を行っていない場合には
Windowsを再起動してください。

Q： データ転送処理中にエラーが発生する。

A1： COMポート番号及びCOMポートの設定を確認してください。
正しいCOMポート番号指定及び設定をしないと正常に動作しません。

A2： 本ソフトウェアインストール後にWindowsの再起動を行っていない場合には
Windowsを再起動してください。

A3： お使いのパソコン環境によっては、「USBドライバソフトウェア」のインストールが
正しく行われない場合があります。
その場合には、一旦「USBドライバソフトウェア」をアンインストールし
再度インストールをし直すと改善する場合があります。
本取扱説明書の「3. アンインストール」の項目及び、
「2. 1. USBドライバソフトウェアのインストール」の項目をご参照ください。
数回実施しても改善しない場合には、弊社サポートへご連絡ください。

Q： ファイルを開こうとするとエラーが発生する。

A1： 開こうとしているEDLファイルが本ソフトウェアで保存されたものかどうか確認してください。
他のソフトウェアで編集されたEDLファイルを開くことはできません。

A2： 一度に大量のファイルを開こうとしている場合は、開こうとしているファイル数を減らしてください。
一度に開ける事が出来るファイル数は、お客様のパソコン環境に依存します。

Q： ファイルを保存、またはJPEG保存しようとするとエラーが発生する。

A1： 保存先のドライブに十分な空き容量があるかを確認してください。

A2： 一度に大量のファイルを保存しようとしている場合は、保存しようとしているファイル数を減らしてください。
一度に保存する事が出来るファイル数は、お客様のパソコン環境に依存します。

7. 連絡先

KGS 株式会社 計測技術サービス

大阪本社

〒553-0003　大阪市福島区福島5丁目6番29号 丸尾大阪ビル6階

TEL 06-6110-5331

FAX 06-6110-5332

東京営業所

〒112-0004　東京都文京区後楽1丁目1番13号 小野水道橋ビル6階

TEL 03-6379-0334

FAX 03-6379-0335

ホームページ ： http://www.kgs-inc.co.jp

メール問合せ ： support@kgs-inc.co.jp

無断転載を禁じます。

この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告無しに変更することがあります。